

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第116号 2020年9月23日 発行

新型コロナウイルス対策下での オンライン作業療法体験セミナーを予定

事業部部長 宮腰 真 (地域医療機能推進機構金沢病院)

今年度の作業療法体験セミナーは、2021年2月にオンラインで開催予定である。

毎年、当会は中高生のキャリア教育支援を目的とした体験セミナーを実施してきた。今年度の体験セミナーは新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンライン開催を念頭に対象を高校生のみとし、開催時期や高校生が参加可能かについて、高等学校にアンケートを実施した。通信環境は高等学校ごとに異なり、学校で参加可能、個人での対応と様々であったが、開催に理解を得ることができた。日程は1-3月との回答が多く、天候や交通の便を考えると避けていた時期ではあるが、遠方から時間をかけて会場まで来ることがないので、オンラインのメリットとして考えたい。

日程やプログラムの詳細は後日案内することになるが、1. 作業療法の紹介動画、2. 臨床検査や福祉用具の体験、3. 作業療法を楽しみながら学んでもらうクイズを企画している。オンラインでは長時間の参加が難しいと考えられるため、2019年度のプログラムでの参加者の反応や感想を参考に、短い時間で

も作業療法を知ってもらい、高校生が職業選択を考える機会になるような企画を準備している。病院や作業療法室の雰囲気を直接感じることはできないが、可能な範囲で施設や実際に働く作業療法士の声を届けるように工夫したいと考えている。初めての試みのため準備に戸惑うことも多いが、企画に関わる事業部員はオンラインZoomで自身が会議に参加しながらその特性を理解し企画準備に奮闘している。どうか、たくさんの方にお知らせいただきたい。

最後に、作業療法の知名度は残念ながら高いとは言えない。しかし参加してもらえれば、理解が深まり、皆さんの満足度も高いことは経験済みである。数年前に体験セミナーに参加した高校生が県内の養成校に進学したという嬉しい報告を複数聞くようになった。コロナ禍でも作業療法体験セミナーに参加することを通して、高校生にとって、作業療法についての理解を深める機会、障がいと共に生活することを考える機会、ひいてはいろいろな方の人生や今後の自分の生き方を見つめる機会、今後の進路選択および職業選択の一助となることを期待したい。

2020年度 作業療法体験セミナー 2月オンライン開催!

満足度 100%
理解度 100%

今年はコロナ禍で例年と同様の開催は難しい... **オンライン** で開催することになりました!

お知り合い、院内に 宣伝をお願いします!

2019年度プログラム
① OTクイズ
② 患者様体験
③ 検査体験
④ 障害者体験
⑤ 患者様入浴の体験クイズ
⑥ アンケート

1. 動画でのOT紹介
・仕事内容
・就職場紹介
・専科紹介
なども動画で行います!

2. 検査体験
お仕事の一部である
検査を体験して
もらいます!!

3. クイズ
OTのクイズ
楽しみながら
学んでもらいます!!

質問: 作業療法とは何ですか?
回答: A. 作業療法を楽しく学ぶ!! 学生向けの体験型セミナーです!!

質問: わたしは開催... どのくらい参加できるのかわかるの?
回答: ZOOMを使用した開催になります

質問: 参加者の声... 皆さんの声は大事です!! 体験が楽しくなった!! 作業療法に興味を持ちました!! ありがとうございます!!

災害対策への取り組み強化—JRAT石川の活動を通じて—

災害対策委員会委員長 東 ひとみ (石川県リハビリテーションセンター)

JRAT石川は、2019年4月の発足から2年目を迎えた。当会は他団体と明確に連携を図ることとなり、初年度は県内の医療・福祉関係者への啓発・育成を目的とした研修会を2回開催し、委員の支援技術・知識の向上として災害医療研修に4人の委員を派遣した。2年目の今年度は、JRAT石川の主要課題4つへの取り組みとして、①県との連携(協定書締結)、②広報活動・研修企画、③初動支援・機材準備、④派遣チーム整備について、小委員会を立ち上げ、目標と課題、課題解決に対する方策等を検討し、より活発な活動になっている。現在の活動は新型コロナウイルス感染症のため、Web会議やメール等で議論を進めている。今後求められる新しい生活様式は、生活を不活発に

させる可能性がある点において災害時の課題に類似しており、災害支援はますます幅広く身近に存在するものと認識された。

全国ではJRATが2020年4月より法人化され、『一社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会』と名称が変更されることになった。各都道府県にはJRAT地方組織が続々と設立され、地域ごとの連携が求められている。災害支援は必ずしも被災地で活動するものではなく、後方支援も重要な活動になる。今後、より多くの会員に研修会や当委員会活動に参画をお願いしたい。

※JRAT: Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team

第32回日本ハンドセラピィ学会オンライン学術集会を終えて

第32回日本ハンドセラピィ学会学術集会 会長 西村 誠次 (金沢大学医薬保健研究域保健系)

このたび新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い、2020年4月24日(金)、25日(土)に予定していた第32回日本ハンドセラピィ学会学術集会の通常開催を中止とし、6月28日(日)～8月10日(月)にオンライン学術集会を開催した。お陰をもちまして無事終了することができ安堵するとともに、これもひとえに皆様のお力添えあつてのことと深く感謝申し上げます。

本学会は私が臨床の場に立った年でもある1988年に設立され、今年で32回目の学術集会を迎えた。本学術集会のテーマは「ハンドセラピィの伝承と挑戦」とし、伝承とは現実をしっかり把握し、挑戦とは希望を持ってそれを実践することであると考えている。

またこの実現には、基礎と臨床の学術的連携を深め、国際的視野で検証・挑戦し、そして何よりも医師とセラピストの連携がさらに深まることが大切だと考えている。専門的な知識と技術、そして人の繋がりを深め、今後も本学会が国際的かつ学際的に発展していくことを願っている。

最後に、このたびの通常開催の中止に伴い多くの医師、セラピストの方々から激励のお手紙、メール、お電話等をいただき、多くの勇気と希望をいただいた。この場をお借りし改めて深く御礼申し上げます。また本学術集会にご支援ご参加いただいた皆様、ご協力をいただいた実行委員、運営委員の方々に深く感謝申し上げます。

コロナ禍における病院及び施設での作業療法

渡邊 貴之(公立つるぎ病院)

当院では感染対策委員会直下の感染制御チームにリハビリテーション職員(作業療法士)が所属し、多職種でフェーズ対応表を作成し7月より運用している。フェーズは、フェーズ0(発生なし)～フェーズ5(院内発生)に段階付けされている。現在は、フェーズ2の対応となり、感染対策を実施しながら、外来と入院患者を区分けしての作業療法や家屋訪問を実施している。リーダー研修会での質疑応答や受講者の情報を聞くと、病院や施設によって感染対策に差がある事がわかった。現状では各病院や施設の基準に従った感染対策が必須であるが、作業療法士として行うべき事の優先度や課題について、感染対策委員会へ発信する事も重要であると感じた。生活を支援する専門職として、新型コロナウイルス感染症の最新かつ正しい知識を持ち、新しい生活様式の中で、より良い生活が送れるように作業療法を実践していきたい。

森田 満美子(訪問看護・リハビリステーション「リハス」)

COVID-19の流行により、新たな暮らしの創造が求められる。そんな中、在宅では以下の3つが課題と感じる。①暑い季節となり、脱水による発熱なのか、新型コロナ肺炎の可能性があるのか、のジャッジし辛くなってきている。②ご自宅では家族の帰省など(ゴールデンウィークや、お盆など)があり、家族の行動歴まで知り得ない為、リスクを感じることもある。③外に出ることをリスクと考える人が増え、通所サービスの利用を控えるケースも多く、運動量の低下が懸念される。リーダー研修会では、どこでもだれでも安全に運動量を確保できる方法として「いつでもどこでも脳活プログラム」の紹介があった。どんどん利用していこうと思う。病院や施設では、面会規制が強化されており、地域で担えることは担っていただけると強く感じる。特に家屋評価に関しては、訪問からも情報発信し、より一層切れ目のない支援ができたと思う。

高多 真裕美(金沢脳神経外科病院)

当院の感染対策チーム(ICT)は、医師、看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士、臨床検査技師、事務員で構成されている。新型コロナウイルス感染拡大前からICTに所属していたこともあり、今回は病院全体の問題把握と提案や、リハビリテーション部での困りごとの対応がスムーズに行えた。マスクやフェイスシールドの不足時には、手作りのマスクカバーやフェイスシールドを素早く提案してきた。平時から多職種と関係が築けていることと、スピード感ある対応の重要性を実感している。

私たちにできることは、直面している問題や今後起こりうる問題について、専門的知識をベースにしつつもその領域に捉われることなく、日々発信される情報から必要な情報を見極め、新しいアイデアを取り入れ、迅速に解決策や予防策を提案し、実践していくことではないか。今を怖がるだけではなく「新しいものを創るチャンス!」と捉え、皆でこの危機を乗り越えていきましょう!

石川県作業療法士会リーダー研修会報告

事務局長 麦井 直樹(金沢大学附属病院)

8月22日(土)に、石川県作業療法士会リーダー研修会を開催した。今年度は、新型コロナウイルスが大きく社会をゆさぶっており、医療や介護保険に従事する作業療法士にとって避けて通れない問題となっている。そこでテーマとして、コロナ禍での病院および施設・訪問での作業療法ならびにコロナ禍での地域に生かす作業療法という2つのテーマで多くの施設の作業療法士にご発表いただき、意見交換を行った。さらに協会、県士会の生涯教育制度の新しくなった点を桂理事から、また協会、県士会の動向を東川会長からお話いただいた。半日の研修会ではあったが、各演者、講師からは非常に有益な情報を発信し

ていただいた。なお、感染に配慮して、今年度は会場とオンライン併用のハイブリット形式での開催となった。会場参加者は200名収容会議室にスタッフを含め14名で、他37名はオンライン参加であった。



いつでもどこでも脳活プログラムの活用について

金沢市認知症施策推進委員会委員・担当理事 米田 貢(金沢大学)

いつでもどこでも脳活プログラムは2019年12月に金沢市の依頼で当会が監修した認知症予防プログラムである。全国で認知症予防の取り組みがなされる中で、『社会脳』に着目している点是他にない新奇なプログラムと言える。また『運動』や『認知脳』の代表的なプログラムを掲載し、それぞれの組み合わせによる『応用編』を紹介している。今後、当会では研修会への講師派遣、金沢市の指導者養成やキャラバン隊養成への協力を行っていく予定である。多くの会員に協力していただければ幸いであるが、まずは社会脳についてしっかり理解を深め、プログラムの特徴を実感していただきたい。

県士会webに本プログラムのコンテンツを作成し、金沢市の動画(YouTube)、パンフレットへのリンクを用意した。また、図のようなA4一枚でプログラム

を紹介した絵コンテ(グラフィックレコーディング)もダウンロード可能である。金沢市に限らず県内外で広く活用いただきたい。新型コロナ感染症により新しい生活様式が求められる中、動画やオンラインでの活用も可能になるよう地域で生活する高齢者を支援していく取り組みなども検討していく予定である。



Web研修について

学術部長 堀江 翔(金沢大学附属病院)

県士会では5月からZoomを使用した研修会を開始した。手探りの状態ではあったが、画像付きの参加者、運営マニュアルを作成し理事メールで提供、各研修会の開催前に参加者に配布していただいた。都度行ったアンケートでは良好な意見が多く聞かれており、OTの生涯教育についても協会の承認が得られ、Web研修が気兼ねなく開催可能となっている。事例検討会では事前の練習会も実施しているため、不慣れな会員も是非参加していただきたい。

厚生労働省 臨床実習指導者講習会の開催について

担当理事 米田 貢(金沢大学)

今年度の標記講習会は、オンラインで11月以降に開催で調整中である。定員はオンラインのため50名とし、2回の開催を検討している。参加方法は、自宅または職場でZoomにて参加し、一人に一台のパソコンが必須となるため、事前に通信環境を確認していただく必要がある。実施については、厚生労働省からオンライン開催が承認され、既に他士会において大きなトラブルもなく開催できたとのことである。早めにアナウンスできるよう急ピッチで準備しているのでお待ち願いたい。

作業療法士を紹介するビデオコンテストを開催！！

企画部理事 白山 武志(金沢西病院)
種本 美雪(専門学校金沢リハビリテーションアカデミー)
桂 靖典(木島病院)

当士会は作業療法士を紹介するビデオコンテストを開催することとした。中高校生や一般の方に作業療法士を知って頂き、作業療法士を目指す人材を確保する一助になるのではないかと考えている。

概要は、コンテスト参加費は無料、内容は静止画、動画問わず、様々なビデオコンテンツを募集し、最優秀賞と優秀賞には賞金を準備している。実施要項などの詳細は後日配信させて頂く。多くの応募があることを期待している。

能登支部

支部長 小川 正人(恵寿総合病院)

コロナ禍の中、能登支部は、8月21日(金)に第2回MTDLP事例検討会をWeb上にて開催した。若手の発表とこれから事例登録を目指す部員の一助となるように、急遽、MTDLP推進委員会委員長の福井朱美氏に「MTDLP事例の書き方」について事例を交えて講義して頂いた。参加者は24名で他支部からも参加があ

り、演習を交えながら内容の濃い会となった。詳細な内容は定期便をご覧いただきたい。能登支部では、10月9日(金)に第2回事例検討会を、11月13日(金)に第3回MTDLP事例検討会をWebにて予定しており、県内各地からの参加をお待ちしている。

金沢西支部

支部長 長原 美穂(石川県リハビリテーションセンター)

今年度の支部事業は、半数の事業が終了した。COVID-19感染予防対策として、全てWebでの開催とされているが、事例検討会、MTDLP事例検討会ともに例年よりも参加者は多い傾向にある。中でも今まで参加したくても参加できなかった子育て世代の参加

が増えているように感じる。気持ちさえあれば参加できる環境は整ってきている。

金沢西支部は、親は多少集中できないかもしれないが、お子さんと一緒に参加されるのも大歓迎である。たまには”親子でお勉強”もよいかもしれない。

金沢東支部

支部長 堀江 翔(金沢大学附属病院)

能登支部との合同事例検討会を6月19日(金)に開催した。49名の参加がありZoomの表示が2画面いっぱいになる盛況であったが、人数が多い分発言できる人数も限られており、課題もあった。しかし自粛ムー

ドの中での研鑽を積もうとする会員が多く集まったことにはうれしさを感じた。コロナ前のような生活に戻る見通しは立たないが、継続した勉強、交流ができる場を積極的に提供していきたい。

加賀支部

支部長 西村 幸盛(片山津温泉・丘の上病院)

8月12日(水)に事例検討会を実施した。28名が参加し、3事例の発表について盛んな討議がなされた。当日はZoom形式であったが、トラブルもなく終えることができた。義足の適合から使用訓練、家族との関係構築にまで関わった事例や、結核の治療後の廃用

予防や日課の充実を図った事例、経口からの摂取の希望に対し全粥から常食までの移行を果たした事例が報告され、OTの役割が多岐に及ぶことを改めて実感した検討会となった。

本校におけるCOVID-19感染対策について

種本 美雪(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)



本校におけるCOVID-19感染対策は3月から開始している。諸対応に加え、卒業式や入学式は大幅に縮小し実施した。本校での総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ(3年次)中止はご存じのことと思う。緊急事態宣言時はオンライン講義(Zoom使用)に切り替え、宣言解除後は順次、分散登校し、6/15より対面講義を開始(一部オンライン講義を併用)した。対面講義開始に伴い、感染対策に関する講義を数回行い、また簡易フェイスシールド作成を行い、実習科目では着用している。今後より一層、感染管理に対応できる学生育成に努めていきたい。(詳細な感染対策については下図を参照頂きたい)

自作フェイスシールドを着用した実習場面。写真掲載について同意を得ています

【校内の環境面】

- ・講義室の固定、使用後は消毒
- ・講義中の窓開放(換気)
- ・距離を離れた機の配置
- ・食堂やラウンジの椅子の削減
- ・教壇や面談スペース、食堂にビニールシート設置

【学生・教員の行動面】

- ・終始マスク着用
- ・登校時の検温および記録
- ・不要不急の行動自粛
- ・体調状況や行動履歴の記入
- ・手洗い及びアルコールでの手指消毒の徹底
- ・実習中、保護メガネ(フェイスシールド)の着用
- ・日常生活における社会的距離の確保

本校における授業について

菊池 ゆひ(金沢大学)

金沢大学は4クォーター制でカリキュラムが組まれている。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により、新学期の開始は4月20日にずれ込み、登学禁止、すべての講義、演習がオンライン開講となった。実習系の科目は当面延期となり、第2クォーターの6月19日から再開となった。オンラインではWebex、Zoomを利用したオンデマンドとリアルタイムで実施している。オンラインの場合、双方向で学生と教員とのやり取りが必要なため、通常の講義時よりも課題が増えている。また、オンラインは疲れ易いため、コンテンツを区切って、その都度で理解度を確認し、あまり時間外に課題を持ち越さないなどの工夫が必要になる。実習については、対面となることから、学生への感染症に関する講義を実施し、対策を講じながら実施している。今後もオンラインが続くと思われ、学生の不安が軽減できるよう様々な工夫を講じていきたい。

本校における臨床実習代替授業について

河野 光伸(金城大学)

すべての臨床実習が中止になって半年以上が経過した。この間、文科省・厚労省の通達に従い、特に最終学年の学生を中心に、各養成校で苦慮しながら代替実習を行ってきた。

金城大学では、最終学年の学生が評価実習で経験した症例やOT協会事例集、教員が設定した症例に対する臨床思考過程、OSCEや動作分析の著書に掲載されている症例の動画を用いた動作分析を、教員の指導の元で考察させる実習を行った。さらに、PT学科の学生と同一症例のリハビリテーションを考えさせ、模擬カンファレンスを実施した。

また、学内での代替実習では体験できない実際の症例の症状や反応、感染防止策を学習するため、短期間の臨床実習を予定している。



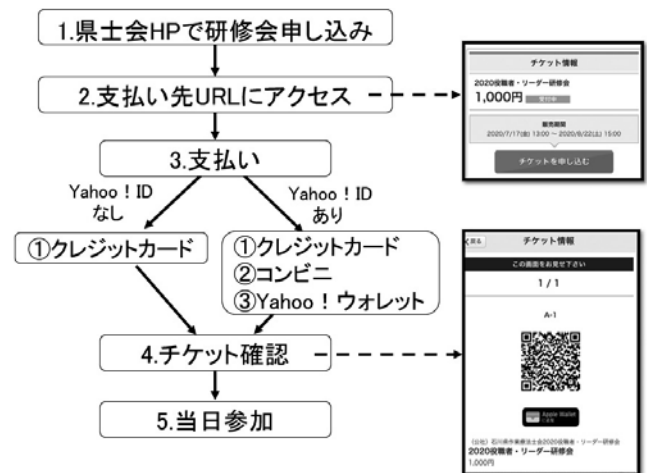
臨床実習代替授業の様子
(OSCEでの移乗動作分析場面)

「キャッシュレス時代到来！」

財務部 担当理事 高多 真裕美

新型コロナウイルス感染症対応として急速にオンライン化が進む中、当会の研修会参加費支払いにもオンライン決済が導入された。利用方法は、①県士会ホームページで申し込み→②パスマーケットで支払い→③チケット受け取り→④当日参加となる。事前支払いのメリットとして、受付での金銭授受がない→受付がスムーズになる→密を避けることができることが挙げられる。初回となった「役職者・リーダー研修会(8月22日開催)」での支払い状況は、クレジットカード決済46名(88.5%)、コンビニ決済6名(11.5%)で、研修会1週間前までに支払いを完了していた人は29名(58%)であった。体調不良や急用等で欠席する場合は、①研修会担当者へ連絡→②パスマーケットでキャンセル、返金という流れになるが、コンビニ

決済の場合は研修会終了後の返金となり手数料も発生するため、クレジットカード決済を推奨したい。



※欠席の場合は、研修会担当者へ連絡後に返金手続きとなる。

◆◆◆令和2年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時・場所：令和2年7月8日(水) 19時～21時30分 西泉事務所及びWeb (Zoom)の使用
- 会場出席：東川、寺田、安本、麦井、明福、渡邊、高多、桂、白山、種本(理事10名)、堀江、長原(支部長2名)

Web出席：村田、大西、寺尾、米田、中森、永井、合歓垣(理事7名)、小川(支部長1名)

書記：田中、山下

3. 議事

【審議事項】①新生涯教育システムにおける手帳整理作業の実施会場について検討、金沢地区は決定、能登地区と加賀地区は確認。②研修会開催方法について、当面は会場とWeb併用のハイブリット開催とする。研修会開催マニュアルの作成、参加費徴収方法及びその周知方法について検討し、8月の役職者リーダー研修会より開始する。承認 ③職業講話、体験セミナーを県内の高校生を対象にオンラインで開催する。承認 ④風船バレーボール大会中止に伴う生涯教育ポイントの取り扱いについて、今年度のみ、自治体活動に取り組んでいる会員へ付与することとし、対象会員の選定方法としてアンケート調査を実施する承認 ⑤事例検討会における日当費について、Web開催のため増加している事前準備時間に対して、業務内容相当分の日当費を支払う。承認

インフォメーション 研修案内

現職者選択研修会(老年期障害)

日時 10月4日(日)
9時30分～16時40分

場所 Web開催(Zoom使用)

第2回金沢西支部MTDLP事例検討会

日時 10月7日(水)
19時～

場所 Web開催(Zoom使用)

第2回 能登支部事例検討会

日時 10月9日(金)
18時30分～20時30分

場所 Web開催(Zoom使用)

第2回 加賀支部事例検討会

日時 10月14日(水)
19時～

場所 Web開催(Zoom使用)

第2回 金沢東支部事例検討会

日時 10月23日(金)
18時30分～21時

場所 金沢大学附属病院
もしくはWeb開催
(Zoom使用)

臨床実習指導者講習会

日時 未定(11月以降)
場所 Web開催(Zoom使用)



「超高齢社会」、
そして「アフター・コロナ」に向けて。
現場の悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。

金城大学 大学院で学んでみませんか？

総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

- ・遠隔オンライン学習対応
- ・就業しながら学べる昼夜開講制
- ・安心設定の学納金



2019年度 作業療法士 他、国家試験、現役生全員合格！
金城大学 国家試験合格率 100% (2019年度卒業生実績)

介護福祉士	第32回	35人 / 35人
理学療法士	第55回	58人 / 58人
作業療法士	第55回	17人 / 17人
看護師	第109回	76人 / 76人

 **金城大学**

詳しくは、本学ホームページで
ご確認ください。



全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス



施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気ででもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革 目標

2023年に向けた

公休数

120日

残業

0時間

有給取得

100%

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けをもらうことが多いのですが、これからも私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

出店計画

<p>■ 北海道エリア</p> <p>PDハウス西野 2020.11</p> <p>札幌2号店 2021.春</p>	<p>■ 関東エリア</p> <p>PDハウス相模大野 2021.01</p> <p>東京1号店 2021.夏</p> <p>神奈川2号店 2021.秋</p>
<p>■ 福岡エリア</p> <p>PDハウス有田 2020.06</p> <p>PDハウス今宿 2021.05</p>	<p>■ 関西エリア</p> <p>PDハウス岸部 2021.06</p> <p>大阪2号店 2021.秋</p>

働き方公開中!

介護サービス **サンウェルズ**

0120-905-166



賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生学生会んやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会
医療法人積仁会

金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウオーター・リンク株式会社北陸支店
株式会社ヤマシタ
セントラルメディカル株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院
学校法人阿弥陀寺教育学園

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。



会員数

会員数 864名(令和2年8月現在) 認定作業療法士 29名 専門作業療法士 5名

新入会員名簿

勤務先	氏名	勤務先	氏名
森田病院	榎本 匠	野々市市役所健康福祉部介護長寿課 地域包括ケア推進係	竹原 有里乃

編集後記

最近、COVID-19が、様々な領域で、多大な影響を与えていることに改めて気づかされる。その1つに、学生の国家試験勉強が挙げられる。昨年度までは、臨床実習を終えた学生が、実地問題を解く際に、「この疾患については、臨床実習で患者さんを担当させてもらったことがあるので解けます！」という学生が多数いた。臨床実習での経験が、国家試験問題を解く際にとっても重要だった。ただ、今年度は、臨床実習を経験できた時間があまりにも少ない。国家試験の問題は、読解力はもちろん、疾患をいかに具体的に想定できるかが鍵となる。「まさか、こんなことになるとは…。」と様々な場面で日々思われる。今できることは、前を向き、臨機応変に対処していくことだと思う。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：明福真理子、白山武志、酒野直樹、田中菜美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、
寺井利夫、太田哲生、佐藤望、網谷郁美、西谷早紀、南朱音、上野玲子、福岡翔平

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社